

【評価実施概要】

事業所番号	173501271		
法人名	医療法人社団 上田病院		
事業所名	グループホームあいあい		
所在地	〒059 - 0036登別市美園町4丁目23番地9号 (電話) 0143 - 82 - 6600		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601 B		
訪問調査日	平成20年6月19日	評価確定日	平成20年8月15日

【情報提供票より】(平成20年5月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 1月 23日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18 人	
職員数	20 人	常勤14人	非常勤6人 常勤換算3.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建の1～2階		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45000円	その他の経費	光熱水費 500円 / 日
敷 金	有(45,000円)	暖房費	11月～4月 150円 / 日
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(10,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:退去時精算)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		

(4) 利用者の概要(平成20年5月30日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	3名	要介護2	4名
要介護3	6名	要介護4	4名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84 歳	最低 76 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上田病院、日鋼記念病院、三村病院、三国ファミリー歯科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鷺別駅から徒歩10分、国道沿いにおいて、利便性のよい住宅地にある。ホームは南面に開かれた窓は開放的で明るく、温湿管理もよく、居間、居室、中心に調理室、トイレ、浴室など介護が合理的、機能的に動ける状況にある。外庭には野菜や花壇作りには近隣の支援もあり、利用者の楽しみの場となっている。職員は細部に気遣いし、丁寧な介護に精励して、介護関係記録などもよく整備している。利用者家族との連絡や信頼関係に留意して安定している。定例的な運営推進会議は均衡の取れた参加者によって、地域の関係者との相互理解と支援関係を深めつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	特に改善すべき指摘事項はなかったが、逐年のサービスの向上のための努力があり、利用者サービスの更なる改善が見られる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	正職員中心に確かな自己評価の取り組みをしており、理解も深めている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議にはホームの活動状況(入居状況、行事、催事、職員の研修、事故等)を報告し、事前に議題を明確にし、家族、地域、包括支援センター、行政などの参加を得た運営がされ、参加者の意見や要請に応じ、ホーム運営の支援も得ている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	月次報告で利用者の心身の状況・生活事情などきめ細かな連絡があり、厚い信頼関係の保持に努めて、家族等の意見の吸収に努めている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の組織との情報交換による状況把握と連携、行事等の参加と交流によって、防災訓練などにも協力関係を促進できる方向へとすすみつつある。今後の更なる検討を期待したい。

評価結果(詳細)

NPO法人福祉サービス評価機構Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	従来からの運営理念に地域性を特に強調してはいないが、地域との連携や支援関係の協働についての職員の認識があり、理解を深める努力をしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念、運営の基本について携帯用のネームバッチに持ち、認識を深めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	常に運営推進会議の主要テーマとして取り上げ、地域関連の情報交換・行事の参加などホーム運営の基本に置き、ホームが地域の支えになるよう努めつつある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は年間業務の反省・事業目標の成果の検証の機会として、基幹職員中心で評価に取り組み、共有している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定例会議は主要テーマの提示、ホーム運営の行事・利用者の生活状況、事故等の事実・職員の研修・ボランティアの動きなどの情報提示があり、参加委員の積極的な意見交換がなされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業運営の法的な変更方針など、行政との連携を直接的・間接的な連携を図って、円滑な関係を維持している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の金銭管理、生活情報・心身の変更管理など月次報告をまとめて家族との連絡を密に図るとともに、職員もマンネリ化しないよう担当を交代するなど工夫をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見や苦情は、施設長はじめ内部会議で検討を徹底するとともに、運営推進会議で報告するなど、積極的な情報開示の努力をしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職は不可抗力なことが多く、利用者の影響を最小にとどめるよう努め、早期の対応と引継ぎの徹底などを図っている。なお、異動の際は職員の意向を受け止めて対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内職員研修計画があり、少人数での勤務年数に応じた研修が行われている。他に、法人以外での研修は必要に応じて出張研修扱いで処遇しており、職員養成の積極的な姿勢を示している。また、法人内での事例発表会が定例に行われ、ユニット単位の日常の成果が検証されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者の胆振地区連絡会が結成されていて、講演会、研修、勉強会、情報交換が活発に行われている。また、その結果の情報が職員に伝えられている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所相談でケアマネジャーとの連絡、他のサービスなどの情報収集、さらには入居前での見学や納得できる説明、ホーム運営・生活の仕方・サービスのあり方などを見てもらい、雰囲気などを確かめてもらいながら入所の決定を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>サービスは利用者本位で自立支援を原則とした対応に努めており、個々の心身の状況に応じ、その意向を尊重したきめ細かな配慮が見られる。</p>		<p>トイレトペーパーホルダーに個人名を書いて、個人の専用であることを表示した取り組みをしているなど、対応にきめ細かな工夫が見られる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>希望や意向については職員相互のきめ細かな感度を活かし、密度のある情報処理で、具体的な対応の協議や状況判断をし、敏速なサービスにつながるよう工夫している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族からの要望や意見を多く求め、アセスメントの記録を充実させ、個々の心身の状況に合わせた具体的な対応ができるサービスに努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人、家族に生活状態、法人の担当医やスタッフの診断、心身の変化等を具体的に話し、あるべき介護計画の作成・変更を実施している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同法人経営の病院との連携による医学的情報の共用、利用者家族の宿泊提供など多様な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医師による月数回の健康相談や看護職・訪問看護師の相談がある。他に、かかりつけ医の診療支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期の看取り介護については変化に応じて検討し、実施できるよう準備を進めている。個別例として覚書を交わしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>個別的な対応での個々への細やかな心遣いがあり、その人らしさを損ねるようなことのない優しさで接している。また、個人記録の運営管理は的確な保管・管理が来ている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>きめ細かなアセスメントに努め、個々への対応の手段・方法の吟味、状況判断の迅速さなど利用者の生活履歴や趣味嗜好に応えるよう努め、支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は重度化しつつあり、家事を手伝う力ある利用者は極少なく、時に応じて頼みながら、皆が心待ちに出来る雰囲気のある食事作りを工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	主に午後を希望に応じた入浴を勧めている。最低週2回の入浴に努めているが、清拭のみの場合もある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道や絵、音楽、花など利用者の好みや趣味に合わせて個々への支援に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	厳冬期を除き、日々出来るだけ外気や日光に当たるよう、外出の機会を多くするように努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則は鍵をかけない管理を方針としている。調査の時点で外出しがちな利用者があることから、リビングの戸に施錠が見られた(国道が近く危険予防のため)。特定者がいないときは施錠していない。		施錠しない対応を徹底すべく検討中とのことで、今後の成果に期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年2回の避難訓練を実施している。可能な限り参加できるよう配慮している。		運営推進会議などで地域防災などの観点も含め、合同で実施してみるなど、参加や連携のテーマとして協議を呼びかけてみてはいかがか、ご検討を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	栄養摂取・水分補給は個々の記録が定例で記録・確認され、個々への飲物や食事の調理法に活かして、処遇管理が徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	南に面した窓枠は大きく、採光がよく、明るい。室温や湿度の管理、遮光のカーテンで調節され、利用者は広い居間に配置された備品調度を心地よく利用している。トイレ、浴室が機能的に配置され、台所も居間の中央部にあって利用者の利便を図っている。作品の飾りもよい。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者には家族共々、馴染みあるものの活用や居心地に役立つものの持ち込みを進めている。		

 は、重点項目。